

農学研究科

教育プログラムの名称：生物生産学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院農学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（生物生産学専攻・修士課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 持続可能な農畜産物の生産に関する高度で専門的な知識や技能を身に付けている。
2. さまざまな分野における専門的な知識を多面的に応用できる能力を持っている。
3. 研究者倫理を有し、主体的に研究を企画立案、実行、プレゼンテーションできる技能を身に付けている。
4. 食料・農業・環境に強い関心を持ち、主体的・自律的に学習を継続できる。
5. 持続可能な農畜産物の生産を発展させる倫理観と責任感を持っている。
6. 地域的・国際的な幅広い視点を持ち、新しい領域を開拓する行動力を持っている。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院農学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、生物生産学専攻（修士課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 高度な専門職従事者として食料・農業・環境に関わる知識と技能を体得するために、体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
2. 論文審査については、専門的かつ多面的な考察をするために、適切な助言・指導を行う。
3. 生涯を通じて主体的に学び続ける動機づけとなるような、多様で学際的な知識と技能が身につく初年次教育を展開する。必要に応じて、基礎学力の定着を目的とした授業時間外学習を促す。
4. 自ら課題を発見して、解決に向けて探求し、成果を表現する能力を培うため、共同による参加型、対話型の学生主体の授業を拡充する。
5. 学習成果の評価においては、不断の教育課程の点検・学生からの評価を組

織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定する。

6. 良識ある市民に求められる知識と技能、さらには主体的・自律的な学習に取り組む姿勢を評価する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

生物生産学専攻は、技術者や研究者を中心に、多くの有益な人材を輩出してきました。本専攻は、安全な農畜産物の持続的生産やそれを担う農業経営、地域の活性化等の研究領域においてより高度な知識を修めるとともに、実践的な能力を養うため、指導教員による個別指導やフィールドワーク等を軸としたきめ細やかなプログラムを展開しています。

また、生物生産学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・知的好奇心が旺盛で実験や研究・調査が好きな人
- ・フィールドを通じて体得した環境保全型生物生産や限られた資源を活かす食農環境マネジメントに関する基礎的な知識をさらに深めたいと思う人
- ・地域貢献や国際貢献について理解と意欲がある人